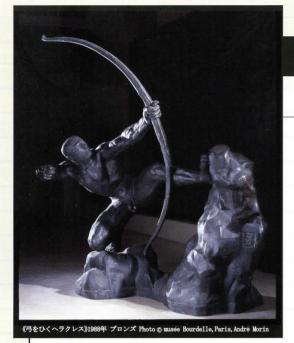
# Civinote

16

しびのーと

高松市美術館 ボランティア通信 2007年10月1日発行



■Antoine Bourdelle (1861~1929)

能刻家。南フランスのモントーバン生まれ。13才で学校を中逃し家計を助けるため家具の細工彫刻を始める。才能を認められ、町の有志によってパリの美術学校に進む。32才からロダンの助手として15年間働き、ロダンに「君は私を乗り越えた。」と言わしめた「アボロンの頭部」によって、ロダンの影響から抜け出し、独自の世界を作り上げていった。

# 巨匠ブールデル展 パリ・ブールデル美術館所蔵 (月をひくへラクレス)

## | 会期 | 9月21日 **金 ►►** 11月4日 **日**

ブールデルの最も有名な作品は「弓をひくへラクレス」では、う。英雄へラクレスが、怪鳥スチュムパリデスを撃ち落そうと、満身の力を込めて弓を引いている瞬間を表しています。みなの作品は、発表当初から絶賛され、ブールデル芸術の頂点と言われています。また、この作品あるともに、芸術の創造に立ち向かう、ブールデルの闘いを表現しているとも言われています。

生涯にわたって作り続けたテーマに、ベートーヴェン像があります。27才から亡くなるまでにベートヴェン像を、デッサン、

粘土、ブロンズ、石膏などで、80点以上作りました。母を亡くして悲嘆にくれていた時に聞いたベートーヴェンの音楽に深く感動し、音楽と彫刻は同じものだと感じ、自分の彫刻様式と、ベートヴェンの音楽とが極めて似ていることを確信したのでした。

今回の「巨匠ブールデル展」は、パリ・ブールデル美術館の全面協力を得て実現しました。絵画と違い、360度、どこからでも楽しめるのが彫刻展の良さです。正面からだけでなく、是非後ろからも鑑賞してみて下さい。新たな発見が待っているはずです。「槙井真由美

# 太田 儔展

## 

竹ヒゴを編んで蒟醬(きんま)をほどこす「籃胎蒟醬(らんたいきんま)」。中国南方や東南アジアに起源を有するこの技法は、江戸末期、讃岐漆芸の祖・玉楮象谷(たまかじぞうこく)によって使用されましたが、その後、様々な理由により途絶えてしまいました。この幻の技法「籃胎蒟醬」を新しい形で現代によみがえらせたのが、太田儔(おおたひとし)でした。

太田は、自らさらし竹を手で割り、0.4mmに満たない厚みにし、1本1本の竹ヒゴを作ります。作品の内側には、漆を塗り乾燥させ磨いた竹ヒゴを編み、外側には漆を塗っていない竹ヒゴを編んでから漆で塗り固めます。一重では形が変形してしまうこともあるのですが、二重に編み重ねることにより、器の強度が増すのです。内側は網代(あじろ)編みの模様を生かし、外側は身近な動植物など自然の情景をデザインした模様などが蒟醬の手法により描かれています。

太田の作品の大きな特徴は「布目彫り蒟醤」です。縦、横の線彫りに色漆を埋めて研ぎ出し、次に斜め十字の線彫りに、別の色漆を埋めて研ぎ出すのです。複数の色漆を混ぜるのではなく、分けて彩色することにより、明度、彩度



#### ■太田 儔(1931~)

漆芸家。岡山県生まれ。難波仁斎に師事し、岡山大学特設美術科で学び、磯井如真の内弟子となる。 1994年(平成6年) 蒟蕾で国の重要無形文化財保持者に認定される。現在高松市屋島の工房にて制作。

はそのままに目の網膜で色を混合させるのです。新印象派の 画家スーラの点描と同じ理論だそうです。

《籃胎蒟醬 盛器 熱帯魚》の波網代編は0.8mmから4mmの9種類の幅の竹ヒゴに黒から赤まで24段階のグラデーションの色漆をぬり、編んだもので、網目の面白さが浮き出ています。モチーフは太田さんが飼われていたネオンテトラだそうです。本展では3点の棚の作品も揃い、約60点が出品されます。讃岐漆芸の巨匠、太田儔の世界をお楽しみ下さい。[森糸江里子]



の生活や生き様を、鋭い観察力で 描いたロートレックのポスターは、今、 私たちが見ても古い感じは全くなく、 ロートレックのデザイン性がいか に優れていたかが伺えました。

【ルネ・ラリック展】平成18年に はエミール・ガレ展、今年はルネ・ ラリック展と、2年続けてガラスエ

芸家の展覧会が、春から初夏にかけて開かれました。ガレはガラスの絵 画、ラリックはガラスの彫刻と呼ばれるなど対照的な二人でしたが、そ れぞれのすばらしいガラス作品を、目の当たりに出来たことは、本当に 幸せなことだと思っています。[ 槙井真由美]

### 子どものアトリエvol. 12「影絵げきに挑戦!」 アシスタントを終えて

講師河野さんによる影絵げきは2度 目の挑戦です。集まった子ども達の中 には前回(2005年12月)を体験して いる子もいましたし、もちろん初めて の子もいました。どちらにしても影絵 げきの制作は真剣そして熱中!実はア シスタントする私達は同じスケジュー ルで"まるごと探偵クラブ"を抱えて いたので制作ではあまり役に立てませ



んでした。講師の河野さんは中学生の影絵げきの方も指導していました が。ところが劇の段階になって人数の足りないチームが出てきてしまい、 こびとの役、靴の役が大人にまわってきました。美味しいとこ取りみた いで気が引けましたが、子どもの足を引っ張ってはいかん、と頑張りま した。[三好ひさこ]

## まるごと探偵クラブ「ロートレックのひみつを探せ!」 アシスタントを終えて



またまた中学生が頑張ってくれました。ま るごと第3弾!!今回は「ロートレック賛歌展」 で香東中学校美術部とのリンクです。全2時 間のプログラムは中学生自身が考え、この日 を迎えました。鑑賞系クイズは展示作品から 出題され、答えとともになんとギャラリート 一ク付き。制作系はロートレックのモノグラ ムをヒントに参加者が自分のモノグラムを制 作、お楽しみコーナーでは飛び出す「骨なし

## 2007 civiの主な活動

2/16 ~3/2	「ロートレック賛歌展」ギャラリートーク(会期中毎日曜·祝日、 5 各日午前·午後、開催回数のベ14回、参加者数のベ279名) ●●●● A
3/4. 11. 17. 18	子どものアトリエvol. 12「影絵げきに挑戦!」 (講師:人形劇団「ドリーム」メンバー河野美恵子氏) •••• B
3/18	まるごと探偵クラブ「ロートレックのひみつを探せ!」 アシスタント ・・・・ C
4/1	しびの一と15号発行
4/20 ~6/3	「ルネ・ラリック展」ギャラリートーク(会期中毎日曜·祝日、 各日午前·午後、開催回数のベ22回、参加者数のベ364名) •••• 🛕
5/2	栗林小学校ルネ·ラリック展見学時のギャラリートークおよび「ルネ·ラリック物語」上映 •••• D
5/20	ワークショップ「世界でたった一つの絵本」 アシスタント(講師:アーティストMAYA MAXX)
5/26	ルネ·ラリック展 アートで遊ぼう!「まねっこで体感! ラリックの世界」アシスタント •••• E
6/30	第2期常設展 アートで遊ぼう!「現代のやきもの鑑賞 術」アシスタント
7/7	サンド·ブラスト体験(講師:エッチングガラス工房 にのみやあ〜と 主宰·二宮康勝氏) •••• ►
7/28	海洋堂の軌跡展アートで遊ぼう!「ウォーリーを探せ! in 海洋堂展」アシスタント
7/30	盲学校にて手による鑑賞研修(講師:香川県立盲学校教 諭・栗田晃宜氏ほか) ・・・・ G
8/2. 3	子どものアトリエvol. 13「フィギュアを作ろう!」 (講師: フィギュア作家·田淵力氏)アシスタント
8/4	吉田新課長と意見交換

#### 「ロートレック賛歌展」「ルネ・ラリック展」 ギャラリートークを終えて

【ロートレック賛歌展】現代のコマーシャルというと、テレビやイン ターネットが大きなウェートを占めていますが、ロートレックが活躍 した19世紀後半は、絵や活字によるものが殆どでした。ロートレック が描いたポスターは、大胆かつ斬新で、蒐集の対象になり、街に貼り 出されるや、すぐに剥がされることが多くあったようです。大衆文化 が大きく花開いた花の都パリの、賑わいの真っ只中に身を置き、大衆

10/<sub>20(±)</sub> 10-12時

参加希望者は事前に美術館までお申し込みください 対象:小中学生/(電話087-823-1711) まるごと探偵クラブ「ブールデルのひみつを探せ!」

い長田に もテ ランティアの せてくれ 加アの による講演を紹介し 一先生(現大阪大学総加した。その時の鷲 T 延 3 ~ 動 た全 0 「出かける」「会 人として先 百 人の 状と にボラン ボラン を思考 生

美術館を《原っぱ》と 外さを感じるかもしれない。 が、これら驚きが、ボラ が、これら驚きが、ボラ につくる活動のキーとな につくる活動のキーとな (原っぱ》 高松市歷史資料館学芸 が秘められている。 開を楽しみにして は無尽 0 VI 可 る。

美れ田い夕で 術た先うンき 館 °生「スず む」際、 る ょってきた人のったこと。に出現した《けず』は一時のかった。 くす らこちら た。 活 術各 動 としてのth としてのth きた人 ある 0 で ること」 12 12 た いな 建れよ まるごと 条築の景を引き、 が人な れ回為と 築は、 つのいたかて意は私な . う場 15 時 0 と」が何のに美術館なごと探偵なること探偵なることに、 をこれに、 をこれに、 がしたがの間に、 が生かれた。 たと認 る 青輪は、新に、 青 し青森郭て木県化 識まわ、に、》術偵そ」。然をて木県化、館でれくあネ集で館クれと原とつ語淳立さ鷲と スに

美しさに魅了されました。そこで私 たちシヴィの中でガラスの創作を実 際体験してみては、と提案される方 があり、にのみやアートの二宮さん にお願いして、サンドブラスト体験 を実現することができました。

サンドブラストは、ガラスに細か な砂を吹きつけ表面に傷をつけるこ とで模様を描く技法。ルネ・ラリッ ク展出品作の中にもこの技法を用い



たものがありました。作り方は、まず透明なお皿やコップに図案を描い た紙を貼り、図柄に沿ってカッターで切込みを入れます。そして最期に サンドブラストの機械の中に入れてガラス粉を吹きつけ、紙をはがすと 出来上がり。カッターで図案を切っていく作業はなかなか悪戦苦闘を強 いられ、砂を吹き付ける段階でもどのようになっているのかわからず不 安に駆られますが、紙をはがして仕上がりを確かめる瞬間は楽しいもの です。私も心配したにもかかわらず、それなりに満足のいく作品を仕上 げることができました。気軽にガラス工芸の世界に触れることのできる、 有意義なワークショップでした。[湊節代]



#### 「視覚障害者とともに観賞するために」



7月30日、県立盲学 校に出かけ、栗田先生、 安川先生ご指導のもと 研修会に参加しました。 視覚障害とは、視覚を 利用して生活すること が困難な方と、不自由

ながら視覚を利用して生活ができる方がおられると言う説明を受けま 1. +-

まず私たちは、弱視者の視界を再現したメガネや視界の狭いメガネ を着用し、制限のある目で見る感覚を体験しました。次にアイマスク を着用し、木製の彫刻を手に取り感触を確かめました。アイマスクを はずし、その物が想像していたのとは全然違う事に驚きを感じました。 目で見るのと触れてみるのでは、このようにギャップがあるとは思い もしませんでした。見るだけではわからない事もある事を感じました。 今度は2人1組になりガイドの仕方を教わりました。アイマスクを着 けての歩行は大変不安と緊張を感じました。

今回の研修に参加し視覚障害者の方と鑑賞するためには、まず声を かけること。前後左右などの言葉を使い方向を示す。作品の前では全 体像を説明し、安心して十分鑑賞するための時間をとる。コミュニケー ションをしながら鑑賞を楽しめたら良いなと思いました。[皆見礼子]

が存在す

る、

そう思

8

0

0

K

ラ

人

見ると大きなド

る。

田

光子

ヴァランタイン」のカードを作りました。初登場、影絵劇はロートレッ クの一生を演じ、公演回数は4回にもなりました。

「ロートレック賛歌展」で展示されたポスターはすでに100年前のも の。企画した中学生も参加者の小中学生にもポスターに描かれている時 代(キャバレーの宣伝だったりするし・・・) を理解するのは大変だっ たかもしれません。でも"まるごと探偵クラブ"で共有した感覚は忘れ ないよね?そして大人たちは"まるごと"をサポートできる喜びを今回 も味わいました。[三好ひさこ]



### 「ルネ・ラリック物語」のナレーションをして

小学生がラリック展を見学する際、すぐに会場でラリックの作品に 向き合うのではなく、その前に、ラリックの生い立ちや仕事、生涯な どを、子供たちに分かりやすく伝える方法はないものかと考えた結果、 「ラリック物語」なるものを、スライド上映することに決めました。

小学生の来館予定まで約2週間と迫る中、急遽、絵の担当、ストー リーの担当、編集の担当と、手分けして大奮闘?の結果、なんとかぎ りぎり間に合わせることができました。

イラストが大きな画面に映し出され、よく選ばれた音楽と写真、そ れにナレーションを合わせてみると、素人集団が作ったにしてはなか なかの出来栄えに思えました。スライドを見た子供たちの感想の中には、 鑑賞の助けになったらしい言葉もあり、メンバーで喜び合ったものです。 初めての企画、なんとも楽しい作業ではありました。[石原ミエ子]

※「ルネ・ラリック物語」コンパクト版を本誌 P4 に掲載



#### ルネ・ラリック展 アートで遊ぼう! 「まねっこで体感!ラリックの世界」アシスタントを終えて

アートで遊ぼうで、ルネ・ラリッ クの作品中に出て来る、美しい人物 たちのポーズをとりました。一緒に お手伝いをしていた高島さんと、手 足の長さやポーズの難しさに悩みつつ、 必死で研究しました。いざ子どもた ちと一緒にポーズをとると、子ども たちが楽しそうに真似をしてくれ、 達成感を感じました。

[香川大学教育学部 井上千鶴]





#### サンド・ブラスト体験

昨年はエミール・ガレとドーム兄弟展、そして今年はルネ・ラリッ ク展があり、ガラスの持つ神秘さ、透明ゆえの危うさをもつガラスの



参考資

トカ バテは ったのを見 0 ク ピい にド最 彼ラ近 0 7 て驚 作のア タ 品 IJ 1

つ代 ス現け画作 年シ ならえたい涙悔あ 1 ュ作場 の作品 た女に だろ ルの私た。 リタ 代 0 9 表 品 = ふ大 ろ作性 す タ 面 ク 力 美 0 6 者 涙れき 1 ユ より1ラ年ョ イのロンロ を うか る 0 1 術 ん品 0 口 コ 想像 なだ。 ポなの 劇 1 かそ す 見 画 よって 7 は、 ッり、プ ? れ 涙 開 は な 代 1 F 的 ズ 家 を 1 プ な 初ク ラ な ア 画 通 0 拡 7 アや 大し IJ 0 ツ ば VI 俗頭 1 7 面 生 きなり、 人とな 1 まう。 チ 瞬 プ い恐 の目 が な 的 9 丰 ま ・テン さ て L ただ な漫 2 3 ツ 枚を っ怖 れ 捉ればの

ドたッポ 太か作今 きら 追とい 画 ウ 漫が 生面の 1 VI H T ユ -の代表の 品ない を中小 嘆 ン た タ 才 T 5 見 VI え 及 0 を 画 メリ かあのが れの to 8 主 1 1 際の さ は き 1 3 " 0 たと る 記者 プ 変えたとも 立 K な き F. 題 ン ホ 4 からだろう カン れ漫 ٢ に網な線 た ラ F. ツ IJ ル 力 号 0 15 斬 一人 語 もリ な 1 同 0 点色 せ、 ツ 丰 制 7 11 画 新 このだろう。」 っ表現の っ表現の た って 瞬模彩 F 1 のテ C 0 术 作 L ように アンデ の様 ツ + 作 ツが、 7 描 ン を 見 言える。 VI うち シ テン プ 印 写 試 か。 焼 を ク 家 る。 え T な作 き がを ユみ 使 0 1

漫 シ

7

付に

思見 タ ☆

松 ٧ 市 術 館  $\exists$ 

河瀬昇 は何を残したかり

ローレンス・アロウェイ イ・リキテンスタイン』 『アメリカ現代美術

## 光への軌跡

## ルネ・ラリック



ルネ・ラリック展の小学生見学時用に制作したラリックの伝記スライドショー、「ルネ・ラリック 物語」のコンパクト版をご紹介します。

シヴィのみなさんに各シーンのナレーション原稿を書いていただき、それをもとに(私のくどい 注文つきで)シヴィ末原さんがイラストを作成。本番では、パワーポイントで編集した映像をプロ ジェクターで投影し、シヴィ石原さんのナレーション+私選曲の音楽つきで上演しました。BGM に使ったペルト『鏡の中の鏡』を聴くと、いまでもこの10分の愛すべき小品が想い出されます。 〇〇物語は、イサム・ノグチ、ロートレックに続き今回で第3弾。「巨匠ブールデル展」でも第 4 弾ブールデル物語を上演予定(10月20日)ですので、ご興味のある方はぜひ。 (高松市美術館学芸員 牧野裕二)



ラリックは1860 年フランス・シャ ンパーニュ地方に 生まれる。



16歳でジュエリー工房に弟子 入りしたラリックは、18歳で ロンドンへ留学。



30歳でアリスと結婚。







1925年、アール・デコ博 覧会で様々なガラス作品を 発表し大成功。



香水瓶のデザインを して大当たり。 50歳頃を境にガラス 作家に転向。



アール・ヌーヴォーのジュ エリー作家として奇抜な 作品を発表。





列車、船、自動車の装飾も ガラスで手がける。





日本にも、ラリック作品をはじめ アール・デコでまとめた邸宅が存 在(現在の東京都庭園美術館)。





1939年ラリック永眠。

イラスト: 末原香里

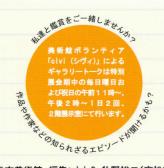
#### 今後の展覧会予定



2007年 11/23 (金·祝) ~ 12/9 (日) 立体をめぐる4つの部屋 高松市美術館コレクション展 I

2008年 1/11日(金)~1/27(日) めくるめく連作版画の世界 高松市美術館コレクション展Ⅱ

2008年 2/22(金)~3/23(日) 太田儔展



発行:高松市美術館 編集:civi & 牧野裕二(高松市美術館) デザイン:福井裕子(高松市美術館)



高松市 〒760-0027 香川県高松市紺屋町10-4 Tel: 087-823-1711 Fax: 087-851-7250 美術館 http://www.city.takamatsu.kagawa.jp/647.html

- ■平成15年に開かれた「知られざる西アフリカ展」以来、 アフリカに惹かれていま す。今読んでいるのは、アイザック・ディネーセンの「アフリカの日々」、おぉ憧 れのアフリカ! [槙井真由美]
- ■「人間は一生のうち逢うべき人には必ず逢える。しかも一瞬早すぎず、一瞬遅すぎないときに」この言葉との出会いは20数年前にいただいた年賀状でした。そのときは気にもとめていなかったのですが、この頃ふり返ってみると、その通りと思う 今日この頃です。
- ■原美術館の「ヘンリー・ダーガー展」をおとずれ、強烈な作品と魅力的なギャラリ -トークに出会い元気をもらいました。少しでも近付けたらと思いました [皆見礼子]
- ■20年も前に人に誘われてロートレック展に行きましたが、なーんにも覚えていま せん。自分の意思で見ることは大切です。 [三好ひさこ]
- ■先日とうとう若手作家さんのガラス作品購入しました。金で施されたとっても繊細 な草花と蛍が閉じ込められたガラス玉です。とってもしあわせな気分です。
  - [森糸絵里子]
- ■春に鎖骨骨折しました。これで2度目です。骨粗しょう症かも!もっと運動をと思 いながらつい楽な方に流されてます。
- ■巨匠ブールデル展、目の不自由な方対象の手による鑑賞でのひとこま。手で作品鑑賞する少年いわく「あ、口のなかに歯がある。舌もある」。手で見るからこそ見えてくるディティール、というものがあるんだなあ、と実感しました。/しびの一と16号は福井さん(高松市美術館)によるデザイン。ツールを使いこなしセンスもいい彼女はいま館内で引っ張りだこ。デザインができるっていいですね。

[高松市美術館学芸員 牧野裕二]